

三条市シルバー人材センター機関紙

シルバーだより三条

第 64 号

平成28年 7月 1日

公益社団法人
三条市シルバー人材センター

こんな仕事もしています!!

自動車文庫の運転・図書貸し出し・返却業務



佐藤 正一 会員 (会場：長沢小学校)



も く じ	
平成28年度定時総会…2	安全コーナー……………8
事務局長あいさつ……3	就業活動いろいろ……9
受賞者の声……………4	(施設管理・自動車文庫)
会員インタビュー……6	新人奮闘記(吉田陽子さん) 10
(大島和雄さん・細川邦子さん)	会員さんの作品紹介…12

平成28年度 定時総会

合併から10年、栄・下田地区会員も初めて表彰される
佐藤常務理事が勇退
新常務理事に鈴木事務局長



謝辞を述べる前田三次会員

受賞者を代表して10年継続入会表彰で下田地区の前田三次会員が謝辞を述べた。

平成28年度定時総会が6月4日（土）、中央公民館で開催され、会員967名のうち225名が出席した。委任状提出者は602名であった。定刻の午後1時30分に開会、飯塚次長の進行のもと、はじめに金子理事長が挨拶された。次に表彰が行われ、20年継続入会表彰3名、10年継続入会表彰52名が表彰された。

今回は、平成17年の市町村合併により、セクターに入会できるようになった栄・下田地区の会員も10年が経過したため、初めて表彰された。

（受賞者のお名前は4ページ）



受付会場に飾られた手芸クラブの作品展

その後、来賓の三条市長（代理 渡辺一治福祉保健部長）、三条市議会議員（代理 杉井旬副議長）、三条商工会議所会頭（代理 木村文夫専務理事）、三条公共職業安定所長（代理 関本昭一統括職業指導官）の皆様からの祝辞をいただいた後、泉田裕彦県知事からの祝電が披露され、暫時休憩。

来賓が退席された後に再開し、大澤均会員が議長に選任された。

定足数の報告の後、議事に入り、平成27年度事業報告及び決算が審議され異議なく承認された。その後、佐藤密夫常務理事の辞任に伴う理事の選任が上程され、鈴木範男事務局長が承認された。

続いて報告事項として、平成27年度補正予算、平成28年度事業計画・予算が一括で報告された。事業計画について、笹川正範会員から質問があり、佐藤常務理事が回答し、すべての議事は終了し閉会休憩となった。



（左から）佐藤前常務理事、金子理事長、鈴木新常務理事

最後に、常務理事を6年間務め今回退任された佐藤密夫前常務理事、新任の鈴木範男常務理事が挨拶をし、全日程を終了となった。



質問をする笹川正範会員

就任のあいさつ



常務理事兼事務局長
鈴木 範男

五月一日から前佐藤事務局長の後任を拝命して二カ月、会員の皆様の圧倒的な活力を肌で感じながら、日々身の引き締まる思いで過ごしています。会員、役職員の皆様方のご指導ご協力のもと、創立三十四年目を迎えた当センター事業のさらなる発展のため、微力ながら全力で取り組んでまいりたいと考えています。

センター事務局は、事業が円滑に運営されるための言わば情報基地であり、理事会・総会を中心とした組織運営や事業運営に的確に連動して実務処理が行われるかどうかによって、センターの発展・拡充に大きく影響を与えるものです。そのため、センターをめぐる諸課題には、着実に取り組んでいかなければならないと考えています。

さて、今日の急速な少子高齢化と人口減少は、社会の活力を維持し、持続的な成長を実現していくため、高齢者に今まで以上に「働き手」「社会の担い手」であることを求め

ています。生涯現役で働き続けられるということは、健康寿命が延伸し、豊かな長寿社会で生きる高齢者が享受できる恩恵でもあり、それは会員の皆様の願い「働く喜び」「生涯現役」「社会の担い手」であり続けることと一致するものであると思います。

最近、会員の皆様と会議等で同席させていただく機会も増えており、いつも感じることはありません。まさに生きがい就労を実践されている皆様は、ますます健康的で見た目も若々しく、そして生き生きとお元気になることです。もっともっと多くの市民が一歩踏み出す勇気を持って当センターに入会されたならば、三条市の高齢者像は大きく変わることができるとは思っています。

これからは、「働くこと」を通して地域に貢献するシルバー事業に関わることができることに誇りを感じ、そして、当センターが将来にわたり、地域の高齢者の就業等を通じた社会参加の拠点としての機能を一層果たせるよう、頑張つてまいりたいと考えています。どうか、皆様方のご指導ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

退任のあいさつ



前常務理事兼事務局長
佐藤 密夫

平成二十二年四月より約六年にわたり、常務理事兼事務局長として席を置かせていただき大変お世話になりました。会員の皆様、役員・職員の皆様とともに歩んだ日々は、いま思い返しますと本当に短いものであったと感じております。

就任当時は、平成二十年のリーマンショックを背景とした平成二十一年度の実績の落ち込み、会員数の減少傾向が続くなど厳しい経営環境下にありました。

また、公益法人制度の改正に伴う公益社団法人への移行、平成二十四年度の創立三十周年記念事業、中期計画の策定、政府の事業仕分などによる補助金見直しへの対応など課題も多く、それなりに多忙な日々であったと思います。

しかし、市などの関係機関のご理解、会員、役職員の皆様のご尽力、発注者である多くの市民や事業所の皆様のご協力を得て、一定のレベルを維持することができました。深く

感謝申し上げます。

いま、私は仕事を離れたことから、日中、家の用事などで市内に出かけますと、本当に多くの場所では会員の皆様の就業の姿を見かけます。こんなにも多くの会員が地域で活躍していると実感し、一人ひとりの会員の就業がこのシルバー人材センターを支えていると改めて感じます。

当センターが行ったお客様アンケートでは、一部クレームもあったものの、大多数は高評価の結果をいただきました。そのご意見のなかに「良心的」という言葉が幾度か使われており、印象に残っています。良心的とは、「良心に従って誠実に事を行うさま」を言いますが、シルバーらしい、誇りうる評価だと思います。最後に、会員の皆様には健康に留意され、元気に楽しく、誇りを持ってシルバー生活を送られることを心から願っております。

大変お世話になりました。これまでの多大なご協力ありがとうございました。

長い間ご苦労様でした。会員一同感謝申し上げます。

いつまでもお元気で、またシルバー人材を応援して下さい。

表彰会員



平成28年度定時総会において、会員継続入会表彰が行われ、20年3名、10年52名の計55名の会員が表彰されました。

今回の10年継続入会表彰は平成17年度に入会された方が対象でした。この年には市町村合併が行われ、センターの対象範囲に加わった旧栄町、旧下田村の方も入会できるようになりました。

そして今回、10年を経過し、栄地区11名、下田地区5名も初めて表彰されました。

受賞された皆様、本当におめでとうございました。



受賞者のお名前

(会員番号順・敬称略)

10 年																								20年		
小出雄二郎	蝶名林陽子	西子 昭	前田 三三	岡田良二郎	大山 幸一	小柳 正	丸山 絹子	渡辺 完	熊谷由美子	安達 実	大関 幸治	横山 秀雄	目黒 啓司	今井 政英	越澤 政弘	大崎新一郎	長橋 盛男	真島 嗣雄	中野 満子	神田 嘉代	藤田 政平	渡辺幸太郎	渡辺 満也	小林 清	鈴木 郁夫	今井 正文 金子ミツエ 田村 薫
田崎 隆	西山 正子	長沼 達男	丸山 芳次	岩山 義輝	渡辺ケサイ	板垣 宏隆	猪本 慎伍	坂井 辰彦	大竹 秀春	熊倉美枝子	藤田 勇	鈴木 勝	高橋 幸雄	坪谷英五郎	原田日出子	吉原 洋子	小林 金治	近藤 鉄夫	中沢 強	佐藤 幸治	渡辺 政子	関 宏士	馬場 栄子	榎本 ナガ	木村 チヨ	

受賞者の声

過ぎた十年を考える



小古瀬

真島 嗣雄

十年継続表彰を頂きシルバー人材センターに入会して早十年かと驚いているところです。

「光陰矢の如し」と申しますが、兼業農家で会社を定年二年延長の上、退職を致しました。在職中は時間を潰くつては海釣りに、また写真撮影も趣味としていました。

退職後は時間を気にせず大いに楽しめると思いきや、毎日時間があるために、今日行かなくとも明日行けると思っ感謝が薄れて出かける回数減りました。何か寂しさも襲ってきました。

そんな時、今までやったことの無い樹木剪定を楽しみたいと考え、県連合会主催の造園講習会を受講致しました。しかし、講習会を受けた程度では上手く松の剪定はできませんでした。

それで市町村合併と同時に入会し、剪定班に仲間入りしました。先輩諸氏の優しくも厳しい指導を受けなが

ら、必死で励んで気が付いたら十年の歳月を経過していたのが、正直な気持ちです。

また、刃物研ぎには日数は少ないですが、固定した班編成でなく、多くの会員と交わることができ、出番が楽しかったです。

野外作業、特に剪定は暑い夏が中心で、冬囲い作業は腹の中から冷え、寒さで指が動かない時もあります。しかし、多くのお客様から庭木の管理作業を頂き、きれいになったね、シルバーは指名ができるのかね、来年も頼むね、と喜ばれ、礼状を頂いたこともあります。そんな時は暑さ寒さ辛さも吹っ飛び、童心に返ったように嬉しく、頭の中で笑ってしまふことがあります。

お客様に喜んでもらうことが仕事と考えており、作業にあたっては「共働共助」を基本とし、お互いに切磋琢磨しながら、技術の向上を図ることこそがお客様サービスと確信しています。

それらを実現するには自身の健康管理と仲間の健康を気遣い合うことを出発点とし、有意義な人生をまとめあげたいと願っております。

この度、十年を迎えられたことはセンターの皆様方のご指導とご厚情の賜物と感謝を申し上げ、シルバー人材センターの益々の発展を祈念し、乱文ながら筆を置きます。

健康で働ける幸せ



今井野新田
丸山 絹子

今回は総会で十年表彰を頂き、本当にありがとうございました。

実は私の父もシルバー会員でした。父は体育文化センターなどの掃除の仕事をしていたのですが、それを見て私も入会したいと思っていました。

しかし、三条市とはすぐ隣ですが旧栄町に住んでいる私は入会できませんでした。そこで平成17年に市町村合併した後、すぐに入会しました。今の仕事はご家庭の掃除や公園のトイレ掃除です。きれいになってお客様から喜んでもらえる時が一番うれしいです。昔はゴルフ練習場の掃除やボール拾いの仕事もしました。講習会にも参加し、介護の勉強もさせてもらいました。本当にありがたいことです。

シルバーでの一番の楽しみは日帰り旅行です。温泉も大好きで楽しい思い出がいっぱいあります。友達も何人かでき、今でも仲良くさせてもらっています。

私は踊りも好きなので、夏祭りの民謡流しにも毎年楽しく参加させてもらっています。去年は右ひざが痛かったのですが、前日にお医者さんから痛み止めの注射を打ってもらって参加しました。

健康で働けることが何よりの幸せと思っています。これからも健康に気をつけて、一年一年頑張りたいです。この度は本当にありがとうございました。

あつという間の十年



原
鈴木 勝

十年表彰を頂きありがとうございました。この十年は水害などありましたが、長いようで短かったように感じています。

私は六十歳で退職し、小遣いでも稼ごうと思って、すぐにシルバーに入会しました。はじめは包丁研ぎをしました。現役時代は寿司を握っていました。包丁はよく研いでいたので、自分にもできると思い参加しました。中学校に包丁の研ぎ方を

教えに行ったこともあります。もう少し仕事がしたいと思っていたところ、ちょうどパソコン講習があったので勉強して図書館の管理受付を紹介してもらいました。その図書館も五年で交代となり、現在は公民館で働いています。

一番の思い出は、スーパーでの出張刃物研ぎです。始めた当初は一日で二百本以上の注文がありとても忙しかったです。

ちょうど十年前から始めた趣味は菊です。菊は毎日世話が必要で大変ですが、ようやく賞がとれるようになりました。

これからも健康に気をつけて、仕事も趣味も精一杯頑張りたいと思いますので、よろしく願いいたします。

十年の会員生活



八幡町
原田 日出子

表彰状を頂き、改めて十年を振り返り過ぎし日々の流れを思いました。東京で定年を迎え、三条へ戻りま

した。定年後は週三日位の仕事があったと思う、ハローワークへ足を運びましたが週五日間の仕事ばかりで諦めました。それが、シルバーへの入会のきっかけになりました。

入会后二年程はほとんど仕事がありませんでした。その後、シルバーにも定期的な介護の仕事が入り、東京在住時の介護経験が活かせるかもしれないと思い、施設介護の説明会に参加しました。

会員十名ほどが集まりましたが、まったく顔も名前も知らないのに、不安もありました。

いよいよ介護職生活の再出発となりました。長らく三条を離れていたのに皆さんとうまくやっていけるかなど色々な心配もよそに、皆さんと助け合い、現在に至っています。介護のニーズも変化しているように感じています。私たちヘルパーも経験を積み、自信を深めてきている実感があります。

大変なこともあります。けれども楽しく仕事を続けて、いつも笑顔で接するように心掛けて頑張りたいと思っています。





会員番号2991
大島 和雄さん(月岡2)

入会したきっかけ

私は市内の企業で溶接関係の仕事に携わってきました。60歳で定年となり2年の嘱託を経て会社勤めを辞めました。そんなときに仲間のシルバー会員から勧められて入会しました。

最初の仕事は何でしたか？

市の商工課から依頼された仕事で、企業や商店を訪問して雇用や景況をヒアリング調査する仕事でした。リーマンショック後の景況のときで、大変な時代だったと記憶しています。2人一組で市内の事業所をたくさん回りました。今までの工場内との仕事と違い、慣れない外回りの仕事なので、いろいろ大変でしたよ。協力的でない企業もありましたけど、いい経験、勉強になりました。

シルバーの感想

今まで携わったことのなかった

外交、調査の仕事をしてみて、対話、外交の難しさを学びました。しかし、いろんな方に出会い、お話をさせて頂くことで、自分自身も大変勉強になりました。今は自治会長をやらせてもらっています。この経験が生きていると思います。

今はどんな仕事ですか？

正直なところ、なかなか時間の調整がつかなくて…。今は地域の活動に比重を置いています。自治会長は現在3年目ですが、本当は1期2年で辞めようと思っていた。しかし、頼まれるうちが華と思って頑張っています。

互助会の幹事もさせてもらっています。広報を担当し、9月と3月に「互助会だより」の編集をしたり、忘年会も担当しています。アトラクションを探すのに毎回苦労しているんですよ。いろいろと工夫もしていますので、もっと大



忘年会の司会をする大島さん

勢の会員さんに参加してもらいたいですね。

どんな趣味をお持ちですか？

趣味は魚釣り、山登り、温泉めぐり、カラオケ、一人旅などですね。「よつば会」というサロンの会にも入っていて、月2回、福祉センターで車いすやスリッパをきれいに拭いております。

温泉めぐりも好きですね。県内にはいい温泉が数多くありますが、気軽に訪れて楽しんでいます。カラオケも大好きです。歌うことは体にいいですよ。日常のストレス解消はもちろんのこと、若返りの秘訣ですね。週に1、2回は行っています。

一人旅は会社を辞めてから始めたのですが、銭と暇があれば一週間くらい、ぶらつとマイカーで出かけています。去年は四国の四万十川まで行きました。今は「道の駅」で宿泊できるところもあり、大変重宝しています。安く泊まれるのがうれしいですね。

健康のためにこつこつしているのは？

山歩きですね。雨が降らなければ毎朝10時に、4、5人の仲間と一緒に森の山頂まで登ってくるんですよ。片道40〜50分かかります。頂上から見る景色は格別ですよ。冬でも登っているんです。

最後にひと言

地域の方と会話していると、人生の大先輩であるシルバーの方が土手の草刈りやドロ上げ、トイレ掃除など人の嫌がる仕事をしてくれているという声を聞きます。お金のために働くことも大事ですが、生涯現役の心気で仕事ができることに感謝し、「おかげさまで、ありがとうございます」の気持ちを忘れないで、これからも元気で頑張りたいですね。

自治会やボランティアなどたくさんさんの仕事をされて、たくさんの方の趣味を楽しんでおられる大島さん。楽しいお話に時間を忘れ、元気を頂いたインタビューでした。大島さん、ありがとうございました。



インタビュアー
角田 道雄・佐藤 勇二
(平成28年6月10日)



会員番号 3669

細川 邦子さん（東本成寺）

入会したきっかけ

平成26年3月に入会しました。夫は企業戦士でしたので、現役の頃はほとんど家にいませんでした。家庭のことはすべて私が切り盛りしていました。定年後は生活が一変しました。家の中で夫と二人で顔を突き合わせてばかりいると、夫原病（夫が原因で発症する病気）になってしまいそうでしたよ（笑）。家にばかり閉じこもってはいけません。ストレス解消の為に入会しました。

最初の仕事は何でしたか？

健康診断の書類を封筒に入れる仕事でした。結構大変でしたが、久しぶりの仕事で楽しかったです。その後、保育所の送迎バスの添乗もしましたね。自分には孫がいないので、子供と手をつないだりして楽しめました。

シルバーに入ったけれども、どんな仕事があるかわからなかった

ので、紹介された仕事は取りあえずやってみよう。しばらくしてから自分に合っているか考えればいいと思い、やったことのない仕事にも挑戦してみました。

今はどんな仕事ですか？

今はセカンドライフ応援ステーションで、データ入力や相談業務、電話応対などをやっています。シルバーの会員さんも結構来られますよ。気楽に来れる場所だと思いますので、皆さんもぜひご利用ください。

この仕事をするようになってからは、利用者の方にいろんな情報提供をしているので、私自身が詳しくなければ利用者により良い情報を提供できないと思い、出来る限り市のイベントなどに行くことを心がけています。

シルバーの印象

正直なところ、以前シルバーに仕事を依頼したことがあるのですが、あまり良い印象を持っていませんでした。入会してみたら違いましたけどね。

趣味はゴスペル

東公民館でゴスペル（アメリカの黒人教会で歌われている歌）をやりに始めて3年目になります。いま練習しているのは「上を向



ゴスペルの仲間と記念撮影（細川さんは前列左から3人目）

いて歩こう」や「ふるさと」です。高校生の時に音楽を選択し、社会人になってからはバンドのボーカルを2年位やった事があります。思いっきり声を出すことで、血液の巡りも良くなりますよ。

他にも運動教室（福祉センター）に通い仲間作りをしたり、油絵を描いたり、健康のためにウォーキング（毎日1時間位）をしています。

楽しくやることをモットーにして長く続けていきたいと思っています。

これからの人生

あとどれだけ生きられるかという年代になってきました。生きていく限り思いっきり人生を楽しみたいですね。



インタビュアー
高橋 静子・荒井 玲夫
（平成28年6月16日）

お金をかけなくても楽しむ方法はいっぱいあります。面倒臭がらずにやりたいと思ったことは、積極的に情報を集めようとすれば、結構集まるものですよ。今までいろいろと変化の多い生活を送ってきたので、ずっと家にばかりいることは楽しくありません。

収入もたとえ少しくあっても、あるとなしでは全然違います。楽しく、そして多少の余裕を持って生活していきたいです。シルバーの存在意義は大きいですね。

安全だより

7月

「安全就業強化月間」

です

実施内容

- ①発注事業主へ会員の安全就業について依頼文書の送付。
- ②会員及び家族に対して、作業手順の徹底及び健康管理等安全就業についての啓発。

平成27年度 傷害事故発生状況（交通事故）

No.	区分	事故の状況	性別
1	バイク	原付バイクで帰宅途上、突然タイヤがバーストして転倒し、骨折・打撲・裂傷。	女性
2	自動車	就業先へ向かう途上、優先道路交差点へ侵入した際、左側から一時不停止車に追突され、骨折・打撲。	女性
3	自転車	自転車で就業先へ向かう途上、一時停止の交差点に止まらず侵入した際、自動車と衝突転倒し骨折。	女性
4	自転車	自転車で帰宅途上、路肩に雪が残る道路左側を走行中、後ろから来た車に追突され転倒し、打撲。	女性

「相互確認」「特別自己確認」としての指差呼称、三〇秒チヨイマチ運動等、安全意識の高揚と確認の励行を図る。

- ③のぼり旗の掲出（期間中、市役所第二庁舎園庭内）

平成27年度

傷害事故発生状況

27年度は8件であり、前年度より1件減少しておりますが、半数の4件が交通事故でした。

定期的に車両等の点検・危険予知運転・交通ルールの厳守・不安全状況の回避等を実施して頂き、まずは「自分の身は自分で守る」を第一歩として、交通安全をお願いいたします。

投稿募集

あなたの感じた危険を
みんなで共有しましょう

安全対策委員会では、会員の皆様から安全に関する投稿を募集しています。仕事中にヒヤリ、ハツとしたこと、健康でいる秘訣（健康法）、事故やケガの体験談などがございましたら、是非ともお寄せ下さい。書式等は問いません。皆様の投稿をお待ちしております。

『高齢者と熱中症』

6月18日、嵐南公民館において、安全対策委員及び同推進員合同会議を開催しました。

今回は、保健師で産業カウンセラーの百都礼子様を講師にお招きし、『高齢者と熱中症：予防と対策』についての研修を実施しました。熱中症は屋外だけではなく、屋内でも発症する可能性があるため、介護・家事援助就業会員の希望者にも参加をしてもらいました。研修の主な内容は次のとおりです。熱中症の理解、予防に役立てて下さい。

熱中症をおこしやすい条件

- ・熱中症を起こしやすい環境状況の条件として、「気温が高い」、「強い日差しを長時間浴びる」だけでなく、「湿度が高い」ことも要因の一つ。新潟県は他県と比べて、湿度が多く「蒸し暑い夏」なので、特に注意が必要。

予防と対策

- ・室内の場合、エアコンや扇風機を活用する。窓にすだれや遮光シートを活用し日光を和らげる。
- ・衣類は襟元や袖口がゆつたりとした、通気性の良い物がおすすめ。



講師の百都礼子様

- ・屋外へ出る時は帽子や日傘を忘れない。日陰を選んで行動することもある。

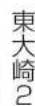
水分はこまめにしっかり摂る

- ・水分は「ちょこちょこ飲み」がおすすめ。朝起きた時、散歩の時、仕事を始める前、入浴後等々に習慣づけて飲むとよい。
- ・摂る量は1日に1〜2ℓ。（スポーツドリンクがおすすめ）

対応ポイント

- ・めまい、手足のしびれ、頭痛、吐き気等の症状が出た時は、速やかに涼しい場所へ移動し、衣類を緩め、体を冷やし水分と塩分を摂る。
- ・症状が改善しない場合は、速やかに医療機関の受診する。

三條ものびり学校

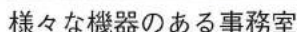


嶋方 俊章

平成二十七年四月一日より、三名で就業しました。東京のもののづくり学校を経営している「株世田谷ものづくり学校」が三条市より指定管理を受け、ものづくりに関わる事業所を入居者として、施設を一つの会社の集合体とした施設になっています。学校は旧南小学校をリニューアルし、施設内設備も各室を使いやすく整えており、入居者も自社が使用する部屋は内装工事を仕事内容に合った仕様にしております。

仕事は年末年始を除き、毎日の夜間と月曜日の昼間に電話、来客の受付と入所者の出勤退社の確認、管内の定期的な巡回、各室や四か所ある玄関や出入り口の施錠管理が主な仕事になっています。

この一年間で大変だったのは、各室に警備のセキュリティが設定されており、慣れないうちは入居者が警備セツトを解除しないまま、部屋を



開けてしまい警備アラームが作動して慌てて解除したり、冬場は朝の出勤時にエアコンとストーブで急に室温を高めたために火災報知機が作動して館内にブザーが鳴り響いたりして、その都度報知器の作動解除やら大騒ぎをさせられました。さらに、全員が退館した後は、大きな建物の中に一人になってしまい、とても寂しい思いもしています。

一番ホツとするのが二十二時十五分になって仕事を終わらせて警備セツトし、車に乗って帰宅する瞬間です。

これからも三人で協力して楽しい仕事にしたいと考えております。

自動車文庫「ひまわり号」



佐藤 正一

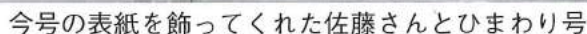
図書館からの仕事で自動車文庫「ひまわり号」の運転、図書の貸し出し返本のお手伝いをするようになって四年目になります。

會員二人の交代制で、週二日、四月から十一月までの間、市内の保育所や小学校、老人施設、市営住宅などを定期的に回っています。

仕事の内容は、朝、図書館の車庫に行き車の点検をしてから出発。図書館の職員さんと一緒に安全運転で現地へ向かいます。着いてからは両脇の扉を開け、階段をセツトし、テーブルを出すなど準備をして利用者が来るのを待ちます。

貸し出しは職員さんが行いますので、私たちの仕事は、ピッコロと呼ばれる読み取り機を使って返本受付をして本を棚に戻す作業です。雨の日とはとくに大変で、雨よけをつけたりますが、本が濡れないように心の注意を払っています。

このひまわり号にはおよそ千八百冊あり、児童書や絵本などの子ども向けの本が多いですが大人の本もある。



ります。

小学校へ行くと、低学年の子どもは二、三冊借りる子が多いのですが、高学年になると貸し出し限度の十冊借りる子も結構いて驚いています。人気のある本は、返本のかごの中から借りていく子も多いです。大人向けの文字の小さい、難しい漢字も多い文庫本を借りる子もいましたが、将来が楽しみです。

ひまわり号に群がる子どもたちの笑顔に毎回癒され、元氣、パワーをもらっています。本は意外と重いの
で結構疲れますが、楽しい仕事です。
これからも子供たちに笑顔のもとを
届けていきたいです。

新人奮闘記

このコーナーでは、職群班に

新しく入った会員さんの

奮闘ぶりを紹介します

今回の新人さん

襖・障子張り



上大浦

吉田 陽子

私は昨年、シルバーに入会しました。この4月から襖・障子張り3班で作業をしています。

シルバーに入会

入会したのが昨年の6月です。おばが以前シルバー会員で障子張りをしていました。私もしたいと思い入会しましたが、講習会は3月までないとのこと、その年は遺跡発掘などをしました。

今年に入り、3月に襖・障子張りの講習会を受けて作業班に入りました。

作業会員は意外と少ない?!

4月に襖・障子班の会議があり、今年度は3班14人体制とのことでした。講習会には20名くらいが参加していたのですが、新人は私だけでした。私は家の障子は自分で張っています。猫を飼っているのですぐに破ら

れてしまい、よく張りかえていました。襖の張り替えは講習会で初めて経験しました。

初仕事

シルバーの襖・障子張りはお客様のお宅に訪問し、お部屋を借りて作業します。事前に世話人さんから現場の地図をもらい、当日現場へ行きます。遅れると悪いので、現場がよくわからないときは下見に行っています。カッターなどの道具は、世話人さんが用意してくれました。

初仕事は4月後半、世話人さんと2人で障子張りの作業でした。作業は2人一組が基本です。私は新人でありペースも遅く、ついていくのに精一杯でした。

もたもたしていると「のりが乾くぞ」とハッパをかけられることもしばしばあります。張った後も、のりがついてない部分があったり、しわが出て貼り直したこともありましたが、毎回冷や汗



もかきながら作業をしています。

毎日が勉強

襖や障子は本当に種類が多くて大変です。今まで見た事の無いような形、模様の戸も多くあります。戸の状態も様々で、日がよく当たる場所の戸は傷んでいることが多いようです。外れない戸にはジャッキを使っ

て外します。お寺にも作業に行きましたが、特殊な戸が多く、珍しい置物もいろいろと飾ってありました。戸を運ぶ時は、ぶつけて壊さないように特に気をつけました。

まだ始めて3か月、のりのつけ方、紙の切り方、カッターの使い方などすべて勉強の毎日です。

作業後は部屋が明るくなりお客様に大変喜ばれます。お客様の笑顔を見ると私も嬉しくなります。早く一人前になれるようにこれからも頑張りたいです。

おまけ

犬や猫が大好きなので、お客様の自宅で飼っているワンちゃん、ネコちゃんに会うのも密かな楽しみです。初めは警戒して吠えたりしますが、慣れてくると寄ってきてくれます。そんな時は、「張ったばかりだから破っちゃダメだよ」と声をかけています。

自由投稿

相手は

I・T (アイ・ティ)



桜木町

角田 道雄

歳のことを気にするときりがない。歳には勝てぬ…

歳は争えない…

歳とともに……等々である。

いつの間にか自分も81歳になった。シルバーのお陰様でこの歳でまだ働けるとはありがたいことです。本当に心から感謝いたしております。

暇なとき、ぼうっとしているのもいやだし、きつかけの1歩とセカンドライフで「ヨツシャ! やつてみよう」と応援ステーションにパソコンの相談に行ってみた。いろいろな情報をもらい、パソコン教室に行つてなんとかワードやメールくらいは出来るようになった。

他にスマホやタブレットもやりたいがお金もないし、娘に聞いたら止めておけと言われた。

見えない相手はI (アイ) T (ティ) だ。攻めるべきか、退くべきか……。また歳と相談かな。

作品紹介

このコーナーでは、会員さんの趣味を生かした自信作を紹介しています。今回は、本物そっくりの松の盆栽を造られている旧下田村の渡辺さんです。

「手造り松」

田屋 渡辺 哲雄



四十年前、冬仕事として松造りを始めました。見本もなかったもので、いろいろと試行錯誤しながらすべて独学です。当時は手芸店で材料を買って造っていました。

その後、長い間造って

いなかったのですが、三年前に人から頼まれたのをきっかけに、また造り始めました。

本物に見えるように

色々工夫を重ね、松の葉は家にある大王松の枯葉を加工して着色しています。幹の芯は針金を使い、紙などを巻いて太さを造り、本物の松の皮を張り付けています。

この作品は、置物の鷹

も組み合わせてみたものです。造った松は新築祝いに贈ったり、公民館に飾ってもらっています。



自宅の庭にある水車や太鼓橋もすべて自分で造りました



2月 地区会議（栄地区）



5月 子育て支援研修会



6月 安全合同会議

写真で振り返るセンターの活動状況